

研修のカリキュラム(150時間コース)

1. 生活支援の理念と介護における尊厳の理解(15時間) テキスト1巻			
科目の細目	通学 時間	通信 時間	講義と演習の実施方法
人間理解	1	0	人間理解の視点について理解を深める。 人間観について考察する。
生活の考え方	1	2	多様な生活を支援する重要性等について説明する。 生活支援の基本を理解させる 看護と介護分野の関係性を踏まえながら介護職員に求められる資質について説明する
福祉の考え方	1	2	介護に対する歴史や考え方の変遷を理解し、家族介護から社会介護のあり方について考察する。 各国の特徴に沿って社会福祉の展開を紹介し、海外の社会福祉を参考に社会福祉の今後について考察する。 QOLがなぜ社会から要請されたかを解説し必要性について考察する ノーマライゼーションの理念と意義・内容を解説する。その他の福祉理念との関連についても解説する。
介護の基本視点とケアワークの意義	1	2	ケアサービスの特徴と意義について解説し考察する 健康観、主体的・能動的生活を解説し、それを支援するためには何が必要かを考察する。 ICF策定の経緯、概要、意義について解説する。 共感能力の重要性を解説し、グループワークを通して現状の困難事例を挙げ、介護サービスの専門性を発揮するためのチームケアを考察する。
利用者の権利と尊厳	2	1	利用者の尊厳を確保するために、権利擁護の理念および権利擁護に関する諸制度を解説し、成年後見制度についても詳しく説明する。 虐待に関する正しい知識、状況の把握について解説し、虐待防止を具体的に考察できるように展開する。 身体拘束をなくしていく取り組みをあげ、身体拘束のないケアのあり方が考察できるように展開する。
地域生活支援の理解と技術	1	1	生活環境のとらえ方について理解させる。 すべての人を対象とする地域生活支援について説明する。 リスクマネジメントについて考察できるように展開する。
1合計時間	7	8	

2. 医療および看護を提供する者との連携 (30時間) テキスト3巻

科目の細目	通学 時間	通信 時間	講義と演習の実施方法
医療・看護との連携の必要性の理解と方法	0	3	(自宅学習のみ)
医療機器、医療用具、薬の基礎的理解	8	4	<p>経管栄養方法と経静脈栄養法について具体的に解説する。どのようなことを観察し、留意したらよいかを解説する。</p> <p>薬液吸入、酸素吸入、口腔内吸引、気管内吸引の基礎的知識を解説する。</p> <p>加齢に伴う排泄機能の変化を理解する。</p> <p>ストーマを造設したことに伴う心理的、身体的変化やストーマの種類や装具、発生する問題について解説する。</p> <p>薬の種類と服用方法、副作用とリスク、多剤併用の相互作用について解説する。</p>
リハビリテーション医療の基礎的理解	7	4	<p>リハビリテーションの基本的な考え方や総合的サービス体系について解説する。</p> <p>リハビリテーション医療の過程ごとの特徴や意味を解説する。</p> <p>リハビリテーションチームを構成する職種とリハビリテーションの過程で行われるチームアプローチや、リハビリテーション関連職種について解説し、他職種との連携の重要性やリハビリテーションチームの一員としての介護員の役割を理解させる。</p> <p>介護予防の重要性を説き廃用症候群にならないための適切な対応ができるよう考察する。</p>
ターミナルケアへの対応	0	4	(自宅学習のみ)
2合計時間	15	15	

3. 介護における社会福祉援助技術(15時間) テキスト2巻

科目の細目	通学 時間	通信 時間	講義と演習の実施方法
ソーシャルワークの基本的理解	1	1	<p>ケースワークが展開される場所・場面について解説し、ケースワークにおける援助関係の重要性などについて考察する。</p> <p>グループワークが適用される場、定義を解説し、具体的な事例を通し、留意点やコミュニケーションスキルについて考察する。</p> <p>コミュニティーワークの定義や適用される地域や場について解説し、具体的な事例を通し、地域における連携、協働の方法について考察する。</p>
相談援助とケアワークの基礎実践技術の習得	1	2	<p>介護員が行う相談援助について解説する</p> <p>家族を支援する際のポイントを解説する。</p>
チームケアとチームワーク	0	2	(自宅学習のみ)
地域に根ざした包括的ケアの基本的理解	2	2	<p>身近な存在となる近隣住民からの協力を得るための留意点と近隣住民に期待される役割について解説し、福祉専門職の立場から、近隣への依頼と調整について考察する。</p> <p>介護保険法改正により地域包括支援センターが位置づけられたことを認識し、地域生活支援の方法、今後の動向について解説し、具体的に考察する。</p>
困難事例への対応に関する事例を通じた理解	4	0	<p>サービスを拒否するクライアントへの働きかけについて解説し、クライアントの抵抗を認識する方法、抵抗しなくても済む方法を考察する。</p> <p>「無力」に陥っているクライアントの働きかけについて解説し、実践モデルを用いてクライアントの援助を考察する。</p> <p>設定された課題を遂行するあるいは解決する形式のロールプレイを行う。</p>
3合計時間	8	7	

4. 生活支援のためのアセスメントと計画(30時間) テキスト6巻

科目の細目	通学 時間	通信 時間	講義と演習の実施方法
ケアプランとサービス計画に関する基礎的理解	5	5	<p>専門性の高い介護サービスの提供を実現していくために「生活」支援の観点からケアプラン、アセスメントについて理解する。</p> <p>居宅介護支援について具体的な事例を通じてケアマネジメントと介護保険制度のあり方と施設のケアプランについて解説し、具体的サービスの概要と運営基準について考察する。</p> <p>ケアプラン・サービス計画書の各プロセスのシュミレーションとその妥当性について小グループによる討論を行う。</p>
ケアプランとサービス計画の作成手順に関する基礎理解	6	6	<p>アセスメントの知識とニーズの関係について解説する。</p> <p>居宅ケアプランの作成について解説する。</p> <p>ICFの考え方を見ながら、ケアプランの関連性について解説する。</p> <p>事例に基づき、訪問介護事業所がケアプランを立てる流れについて解説する。</p>
ケアプラン・サービス計画とサービス提供の実際	4	4	<p>ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録について解説する。</p> <p>職種間の連携について解説し、ケアプランの見直しを考察する。</p>
4合計時間	15	15	

5. 認知症の理解(30時間) テキスト4巻

科目の細目	通学 時間	通信 時間	講義と演習の実施方法
認知症の医学的背景の理解	2	2	認知症の医学的背景を理解し、高齢者の特徴を解説する。 「中核症状」と周辺症状」について解説する。 認知症を引き起こす原因疾病について解説し、発生誘因や症状等について説明する。
認知症の心理学的理解	2	2	認知症高齢者の心理的特徴について解説する。認知症高齢者を「障害」についてどうとらえるかについて解説し、介護員の「障害」に対する視点について受講生の意見を出し合う。 行動障害の原因となる具体的な対応方法について解説する。認知症高齢者とその介護員のあり方について考察する。
認知症高齢者の介護	7	6	認知症高齢者への理解と見守る介護について解説する。 バリテーションの原則、理論と実践について解説する。 介護員としての観察する視点について解説し、規則的な生活リズムを整えて身体的に良好な状態を保つようなケアを考察する。 独歩や杖使用で歩行可能な認知症高齢者を対象とした住環境への配慮事項について解説する。 認知症高齢者の心理的特徴について解説する。社会活動支援に必要な「基本姿勢」「実践」例を挙げ介護員としての心構えを考察する。 「問題とされる行動」について解説し、認知症高齢者が何を望んでいるのかを見極めるケアを考察する。
認知症介護における保健・医療・福祉・サービスとの連携	2	2	各機関の役割と活用方法について解説する。
家族へのケア	2	3	在宅認知症高齢者をかかえる家族の理解について解説する。 認知症高齢者をかかえる家族の理解について解説する。 認知症高齢者をかかえる家族への役割を解説し、認知症診断の受容過程とその支援、認知症の介護、ストレス対応及び住居と地域の環境について解説する。 認知症介護のサービスマネジメントを解説し、事例で演習する。
5合計時間	15	15	

6. 介護におけるコミュニケーションと介護技術(30時間) テキスト5巻

科目の細目	通学 時間	通信 時間	講義と演習の実施方法
コミュニケーションと信頼関係の基礎的理解	3	2	利用者とのコミュニケーションについて理解する。 演習を用いながら、他者と自己を理解することについて理解する。 信頼関係を築くための基本的姿勢について解説する。 演習を交えながら面接技術を解説する。 コミュニケーション手段の障害について解説する。
利用者・家族の理解と心のケアの基礎	3	1	老年期に起こる心理的变化等、高齢者への理解について解説し、より適切に援助できることを考察する。 先天性・早期の障害と中途障害児について解説する。 心のケアの基礎について解説する。
介護技術	1	1	社会福祉の歴史的発展をたどりながら、現在の介護問題について解説し、利用者・介護者自身も「人間としてどのように生きたいか」を考察する。 高齢化に伴う介護ニーズについて解説する。 介護技術を学ぶ必要性について解説する。
基礎的介護技術の習得	12	2	介護用品を用い、具体的場面を想定して実技の演習を行う。 ・食事の介護 ・排泄、尿失禁の介護 ・睡眠、夜間の介護 ・入浴、清潔の介護 ・衣服の着脱の介護
福祉用具の活用と住宅改修の基礎理解	0.5	1.5	福祉用具、住宅改修の意義活用法について理解させる。
介護予防の理解と方法の基礎的理解	0.5	2.5	介護予防の考え方と方法を理解させる。
6合計時間	20	10	
総合計時間(1～6)	80	70	